

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第16号

ホームページ版

全国学力・学習状況調査

～結果の分析と今後の取組～

本年4月18日に、小学校第6学年を対象に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果概要について、以下のようにまとめました。

なお、この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。一方、学校では、児童生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。

ただし、調査により測定できるのは学力の特定部分の一部であり、学校における教育活動の一側面でしかありません。このことを十分考慮しつつ、分析結果を今後の本校の教育活動に生かしていきたいと思えます。

1 本校の教科に関する調査結果の分析（本校・三重県・全国）

今年度は、全国・三重県の平均正答率と比べて、国語はほぼ同じ、算数においては全国・三重県を少し上回りました。昨年度より大幅な上昇がみられ、子どもたちの努力や日頃の取組が反映された結果となりました。また、全国・三重県の平均より無回答率が低く、最後まであきらめずに頑張ろうとする粘り強さがあることも分かりました。この長所を十分評価するとともに、さらなる学力向上につなげていきたいと思えます。

領域別にみると、国語において、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は、全国・三重県の平均正答率を少しずつ上回りましたが、「書くこと」の領域が、全国・三重県の平均正答率を下回りました。

算数においては、「数と計算」「データの活用」「図形」の領域において、全国・三重県の平均正答率を少しずつ上回り、「変化と関係」の領域だけが、全国・三重県の平均正答率を少し下回るという結果になりました。しかし、個々の問題についてさらに細かく分析すると、全ての領域の問題に少しずつ課題がみられる結果となりました。

これらの分析から、国語においては特に「書くこと」に対する力をつけていくことが昨年度に引き続き大きな課題であると捉え、さらなる授業改善に取り組みます。また、算数においては、「変化と関係」を正しくとらえ理解する力を重点的につけていくとともに、各領域のつまづきを克服できるよう基礎学力定着に取り組みます。

2 児童生徒質問紙調査における本校の結果と分析

児童生徒質問紙調査は、アンケート形式で学習や生活の状況について答える調査です。

「基本的生活習慣」においては、起床時刻や就寝時刻が遅くなりがちな子どもが昨年度より増加していることが分かりました。また7月の生活アンケートで、ゲームやスマホを使う時間も長いことが分かっているので、本校の児童は生活時間の管理や計画性に課題があるといえます。

「学習時間」に関しては、昨年度よりかなりの増加がみられ、三重県・全国を上回る結果となりました。一方、読書に関しては、昨年度より低下し、三重県・全国を大きく下回りました。現在、本校は三重県の読書活動推進事業を受け、様々な読書活動に取り組んでいますので、今後改善がみられることを期待しています。

「自尊意識・規範意識等」については、将来の夢や希望をもっている子どもの割合が大幅に減少してしまいましたが、自分に良いところがあると回答した子どもが昨年度より大幅に増えました。人の役に立つ人間になりたいと回答する児童の割合も増加しています。また、いじめはどんな理由があってもいけないと思っている児童は100%でした。

「地域との関係」においては、地域との絆が強い本校の特色が反映され、「地域の行事に参加する」「地域を良くしたい」等、すべての項目で三重県・全国を上回る良好な結果となりました。今後も地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

3 今後の取組について

今回の全国・学力学習状況調査の結果から、本校では、以下の点について授業・指導の改善、または取組の継続を行っていきたいと思えます。引き続き、学校の教育活動にご支援、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

- ・国語・・・書く力をつけるための授業改善、「読む書くワークシート」や「よむ YOMU ワークシート」の活用
読書習慣の定着、情報の整理・取捨選択・活用
- ・算数・・・「椿タイム」「ドリルパーク」等で既習事項の復習、体験的な学習の実施
三重県作成の復習プリント、過去の全国学力調査等の問題への挑戦
- ・学習態度・・・自ら課題を持ち自ら解決していく授業の工夫、自ら学ぶ姿勢の育成
- ・家庭学習・・・自主学習（予習・復習・調べ学習）の習慣の定着、家庭との連携
- ・生活習慣・・・生活時間の自己管理、計画性を持った時間の過ごし方についての指導
- ・キャリア教育・・・将来の夢について考える機会の設定、外部講師の積極的な招聘